

視覚障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



何らかの原因で視覚に障がいがあることにより、全く見えない場合と見えづらい場合があります。見えづらい場合の中には「暗いところで見えにくい」などの症状があります。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 移動に困っていたら、「誘導」が助かります。
- 物と物から距離がつかない場合は、「誘導」が助かります。
- 突然体に触れず前方から声を掛けてください。
- 「こちら」「それ」ではなく、具体的に説明してください。

聴覚・言語障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



聴覚障がいには、「ろう」「中途失聴」「難聴」があります。言語障がいには、「言語機能の障がい」「音声機能の障がい」があります。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- まずは、コミュニケーション方法を確認してください。
- 音声以外の情報伝達方法を望みます。
- 聞き取りにくい場合は分かるまで確認してください。

盲ろう



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



視覚と聴覚の両方に障がいがあることを「盲ろう」といいます。見え方・聴こえ方が大きく分けると、全盲・ろう、全盲・難聴、弱視・ろう、弱視・難聴の4つに分けられます。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- コミュニケーションの支援や移動の介助が必要な場合が多いです。
- その人にあったコミュニケーション方法を見つけてください。

肢体不自由



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



事故による損傷や先天性の疾病などが原因で、上肢・下肢に欠損やまひ、筋力低下などが生じています。そのため、日常の動作や姿勢の維持が不自由になります。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 困っていらっしゃる時は積極的に声を掛けてください。
- 子ども扱いをしないでください。
- 意思を伝えるににくい人もいます。話が聞き取りにくい場合は確認してください。

内部障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



内臓などの機能が低下している状態であり、身体障害者福祉法では、「心臓機能」「腎臓機能」「ぼうこう・直腸機能」「呼吸器機能」「小腸機能」「肝臓機能」「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能」に係る7種類の機能障がいがあります。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 「外見からは分かりにくい障がい」があることを理解してください。
- 風邪などをうつさないように注意してください。

重症心身障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



重度の身体障がいと重度の知的障がい重複している障がいです。移動や食事などを自分一人ですることが困難なため、自宅で福祉サービスを受けたり、医療などを提供する専門施設に入所したりしています。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 介助者と一緒に、優しくコミュニケーションをとってみてください。
- 外食するときに、ハサミやミキサーの貸出しがあると助かります。

知的障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



18歳くらいまでの発達期において、知的な能力が年齢相応に発達していないため、何らかの特別な援助を必要とする状態です。「言葉を使う」「記憶する」「抽象的なことを考える」ことに時間がかかることが主な特徴です。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- ゆっくり簡単な言葉で話し掛けてください。
- 危険なことが分からない場合があります。優しく知らせてください。

発達障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



障がいに起因する困難さも目立ちますが優れた能力が発揮されている場合もあり、このアンバランスな様子を周りの人に理解されにくい障がいです。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 何かをお願い、指示する場合は具体的に伝えてください。
- 絵や写真を使って説明されると分かりやすいです。

精神障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



統合失調症や気分障がい(そううつ病)などの精神疾患では、幻覚や妄想、不安やイライラ感などが認められます。これらの症状は、薬を服用することや環境が安定することにより、軽くなっていきます。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 「がんばれ」よりも「がんばってるね」がうれしいです。
- 再発予防に注意し、時には休養も必要です。

依存症



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



興奮や刺激などを得るために、依存している物質や行為をやめようと思ってもやめられない状態です。アルコール依存症やインターネット依存症、人間関係に対する依存(ストーカーなど)があります。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 依存症は、病気であることを理解してください。
- 治療や自助グループに参加する時間への配慮をお願いします。

てんかん



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



脳の神経の一部が活発に活動しすぎるために、「てんかん発作」が繰り返し起きる病気です。遺伝病ではなく、どの年代でも見られる身近な病気です。薬や外科治療によって発作のほとんどはコントロールできます。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 「てんかん」について正しく理解してください。
- 発作が起こったら、まずはあわてず見守ってください。
- 発作のときは、体を押さえてはいけません。

高次脳機能障がい



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



交通事故などによる頭部外傷や脳血管疾患、その他の病気により脳が損傷を受けると、身体の障がいとは別に、思考や記憶などの脳機能の一部に障がいがあることがあります。これが、高次脳機能障がいです。

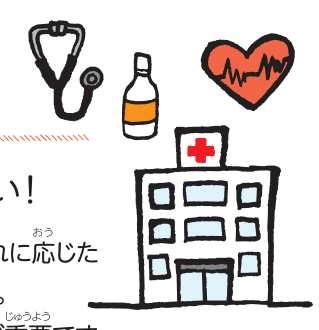
配慮 こんなサポートがうれしい!

- 感情のコントロールが難しいときは気分転換をさせてください。
- 1日の予定などが紙に書いてあると行動しやすくなる場合があります。

難病



こちらのコードから詳しい紹介動画がご覧いただけます▶



難病は、原因不明、治療方針未確定であり、かつ後遺症を残す恐れが少ない疾病、経過が慢性にわたり、介護などに著しく人手を要するために家族の負担が重く、また精神的にも負担の大きい疾病と定義されています。

配慮 こんなサポートがうれしい!

- 周りの人は、疾患の特色や注意点を知り、それに応じた働き方や通院、労働環境に配慮してください。そのためにも、職場でのコミュニケーションが重要です。

身体障がい者補助犬

身体障がい者補助犬とは、目・耳・手足に障がいのある人の生活をサポートする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことです。「身体障害者補助犬法」に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。

障がいのある人のパートナーであり、ペットではありません。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。「犬だから」という理由で受入れを拒否しないでください。